

平和憲法守り 戦争法廃止を!!



宇都宮民報

発行
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722

日本共産党発行
赤旗

日刊 3497円
日曜版 823円

宇都宮城址公園に 1,800人の声とどろく



城址公園を出発するパレードの長い列

「平和憲法を守り、戦争法廃止を求める栃木県民パレード」が、6月19日、宇都宮城址公園での集会のあと、市中心部から宮の橋まで行なわれました。蒸し暑い梅雨のもと、県内各地から、市民団体や労働組合、市民など1800人が結集しました。パレードでは、「9条守ろう」「戦争反対」「選挙に行こう」などの声が響き渡りました。

また、野党統一+市民の参院選統一予定候補もかけつけ、あいさつしました。パレード終点の宮の橋付近では、野党統一+市民の予定候補とともに、県内野党4党の代表が揃って宣伝カーからパレード参加者を激励しました。



また、パレード終了後、新日本婦人の会の皆さんによる「レッドアクション」も行われました。(下写真)



(左) 弁護士などの主催者からの訴えとともに、「SEALDS シールズ」で、デモリーダーの学生、溝井萌子さん(20)が東京の集会から駆けつけ、応援のあいさつをしました。

平和でこそ商売繁盛 宇都宮民商第8回総会

荒川つねお議員が連帯のあいさつ

宇都宮民主商工会の第8回総会が、6月19日に市内で開かれ、荒川つねお宇都宮市議員が来賓として出席、連帯のあいさつを行いました。

同総会方針案では、「全会員調査」などに共通するのは、売上げや利益を連続的に減らし、年所得300万円未満で暮らす中小業者が6割を超える異常な状況の中で「消費税をどうやって払えばいいのか、何のために働いているのか」など、先行きに苦悩しながらも、懸命に商売を維持し、生き抜いている姿が示されています。

その上で、住民と地元中小業者が主人公となる循環型地域経済を実現させるため、住宅・商店・工場のリフォーム助成制度の拡充など仕事確保をめざす。消費税増税ではなく、5%に引き下げ、大企業の特権的減免税をやめさせる等、税制の民主的改革。申告納税制度の擁護発展と納税者の権利確立を揚げ、要求実現のためにも、戦争法廃止や国政の革新のたたかいを呼び掛けていきます。

会長には井上隆央さんが再任されました。

荒川議員は民商の平和でこそ商売繁盛に触れ、「朝の連続ドラマ」と姉ちゃんでは、太平洋戦争間近の情勢で、繁盛していた祖母の材木問屋が傾き、弁当屋さんの注文がなくなり店じまいとなった。安倍自公政権による戦争する国づくりはなんとしてもストップしなければならぬ」と参院選挙での支援を訴えました。



民商総会で連帯のあいさつをする荒川つねお議員

福田くみ子議員の一般質問より(要旨)

6月議会から といざ事件から学ぶこと

安心安全な保育行政と「保育園に落ちない宇都宮」について



福田くみ子議員

宇都宮市議会6月定例会では、昨年12月の質問に続いてこの問題を取り上げました。国においては「学校・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」が今年3月に示され、それに基づいて質しました。今議会では、福田議員の質問の前に、金子武蔵議員も同様の質問をしています。

【当初質問】

「といざ事件」から間もなく2年が経とうとしているが、新聞報道によれば、この裁判で被告は乳幼児を毛布やひもでしばったとされる暴行罪については起訴内容を全面的に認めており、人手が足りなかったことから、日常的にこのような保育をしていたものと思われる。このような悪質な事業者を見逃さない事はもちろん、すべての保育事業者が安心安全な保育を提供できるように、行政としてどうあるべきかが問われている。国が示したガイドラインに基づき、本市で起きたこの痛ましい「といざ事件」をふまえた事故防止対策について市長の答弁を求めます。

【答弁】

事故の発生防止のためのガイドラインを踏まえて、事前通告のない指導監査について、本市独自の具体的な判断基準を定め、この基準に基づき、迅速かつ的確に事前通告を行わずに、施設に立ち入ることで、不適切な保育の早期発見・指導・改善に取り組んでいる。

【再質問】

「事前通告のない立ち入り調査」を行う独自の判断基準とはどのようなものか？

その他の質問は次の通りです。市議員団ホームページでご覧になれます。
子育て日本一と教育をめぐる課題について
LRT問題について JCHOUつのみや病院の譲渡問題について

の判断基準とはどのようなものか？

川中子 子ども部長
児童虐待防止法に基づく運営指針を参考に身体的・性的・心理的虐待が疑われる場合として

福田議員

巡回指導について、日常的な事故発生防止の取り組みとしての「巡回指導」は、事前通告なく訪問指導をするのか？

川中子 子ども部長

事前通告なしの訪問指導の実施を検討している。

答弁を受けて福田議員は、

国の示したガイドラインを市は大変積極的に受け止めた対応であることを大いに評価しています。「といざ事件」は、子どもを金もつけの道具としかみておらず、また、恣意的に幾重にも隠ぺいするという大変悪質なものです。そういったことが、3年間も把握できずにいたことに対する市として、「最大限の対応」と受け止めています。今後は事前通告なしの巡回指導が有効に行われるよう体制をしっかり整備していくこと等、一日も早い具体化を強く要望しました。

市長はJCHOUつのみや病院 存続に尽力してください

医療生協宇都宮南支部が要望書提出

医療生協宇都宮南支部が要望書提出

栃木保健医療生協宇都宮南支部(増山民江支部長)の代表4名が6月28日、市役所を訪れ、市長あて「JCHOUつのみや病院存続のお願いについて」という要望書を提出しました。
石岡和男市保健福祉部次長(保健衛生担当)と鈴木裕之保健所副所長(総務課長)が応対しました。
今回の要望行動は、JCHOU宇都宮病院の地元など市南部地域に多くの組合員を擁する同支部が、市長に病院存続への意見を届けたものです。
要望書の要旨は次の通りです。

このたび、戦後一貫して市南部の地域医療に大きな役割を果たしてきたJCHOUつのみや病院・介護老人保健施設が、譲渡の意思がないにもかかわらず中山会 宇都宮記念病院による一方的な売却話がすすめられていることに私たちは大きな驚きと困惑をしております。

JCHOUつのみや病院は本市の数少ない公的病院として地域住民のために近隣の病院や診療所などとの連携も深く、当該病院・施設を利用する組合員も多くいます。

つきましては、佐藤市長におかれましては地域住民の医療を守るためにJCHOUつのみや病院として存続するためにご尽力をいただきますよう強く要望いたします。



市担当者(左)に要望書を渡し、懇談する代表者の皆さん(右)

日本共産党宇都宮市議員団

定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

日時 7月16日(土)午後2時~4時
会場 姿川地区市民センター 多目的ルーム
連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。
秘密厳守します。弁護士が協力します。